生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	「下垂体機能異常患者の頻度とその治療による下垂体機能の変化、その後の補充療法に関する調査：SS-MIX2 を使用した患者データベース研究」		
1.研究の目的と方法	下垂体ホルモンの不足や過剰状態は様々な合併症を引き起こします。例えば下垂体ホルモンの低下は倦怠感や食思不振、低血圧、低血糖、多尿などの原因となります。一方でホルモン過剰状態は糖尿病や高血圧、脂質異常症、骨粗鬆症などといった合併症を引き起こします。下垂体機能異常に対する治療として手術や放射線療法、薬物療法などがありますが、これらの治療にもかかわらず下垂体機能異常が残存する可能性もあります。下垂体機能低下になった場合はホルモン補充を行いますが、治療内容や投与量は患者さんの状態や血液データによって主治医が調整しておりますが、治療選択と長期的な合併症との関連は明らかでありません。本学は 4 つの附属病院を有し、豊富な臨床データが蓄積されています。そのため、電子医療カルテ情報を収集可能なデータベースシステムである SS-MIX2 を使用することで情報収集を行い、下垂体機能異常の治療による症状と下垂体ホルモンの改善度、ならびに下垂体ホルモンの補充に伴う合併症の頻度を明らかにしてホルモン補充療法と合併症の関連を解明することが本研究の目的です。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	下垂体疾患の診療を受けた患者さんで、2017 年 1 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間に附属病院、葛飾医療センター、第三病院、柏病院にて下垂体ホルモンの検査を受けた 20 歳以上の方。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	病名、年齢、性別、身長、体重、BMI、市区町村、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、収縮期/拡張期血圧、下垂体疾患診断年齢、合併症、自覚症状所見（AHQ による評価）、病理学的所見、検査データ及び処方データ等の情報を収集します	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　糖尿病・代謝・内分泌内科
		氏名	辻本　裕紀
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　糖尿病・代謝・内分泌内科　西村理明	
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2021 年 9 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　糖尿病・代謝・内分泌内科 研究責任者：辻本　裕紀（つじもと　ゆうき） 電話番号：03-3433-1111（内線 3249） 対応時間：平日 9：00～17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。